

ハンズオンセミナー

5月11日(木)

第10会場

10:50~16:00

H1

グリオーマリサーチセミナー

共催：株式会社グリーンペプタイト

グリオーマは、がんの中では発生数が少ない希少癌ではあるが、膠芽腫は難治癌の中では最も多い癌腫の一つです。膠芽腫をはじめとするグリオーマの治療成績の改善のためには、さらに基礎研究を充実させる必要があります。本セッションでは、グリオーマ基礎研究のトピックスについて、治療への応用を見据えて各領域のスペシャリストに講演していただきます。これから研究を始めようとする人や大学院生はもちろん、多くのグリオーマ・悪性脳腫瘍の臨床家・基礎研究者・企業開発担当者を対象とします。

10:50 開会の辞 第37回日本脳神経外科コンgres会長 成田善孝

11:00~12:30 座長 武笠晃丈 東京大学

- ① グリオーマ遺伝子解析の基本手技とピットフォール
三木俊一郎 国立がん研究センター脳脊髄腫瘍科・研究所脳腫瘍連携研究分野
- ② DNAメチル化、ヒストン修飾、長鎖非翻訳RNAなどのエピジェネティクス機構の原理と研究手法
夏目敦至 名古屋大学
- ③ グリオーマの遺伝子解析と今後の展望
市村幸一 国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野

12:40~14:10 座長 永根基雄 杏林大学

- ④ グリオーマに対する免疫療法の進歩—がんワクチン治療—
寺崎瑞彦 寺崎脳神経外科・久留米大学
- ⑤ グリオーマの免疫チェックポイントと治療
青木友和 京都医療センター
- ⑥ グリオーマの血管新生と治療
高野晋吾 筑波大学

14:20~15:50 座長 植木敬介 獨協医科大学

- ⑦ グリオーマ幹細胞
北中千史 山形大学医学部腫瘍分子医科学講座
- ⑧ グリオーマ浸潤のメカニズム
中田光俊 金沢大学
- ⑨ 脳腫瘍研究におけるマウスモデルの有用性
小澤達也 国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野

第6会場

13:00~16:00

H2

微小血管吻合コース

共催：三鷹光器株式会社/株式会社フジタ医科器械/村中医療器株式会社/株式会社メディカルユーアンドエイ/株式会社大野興業/株式会社ベアーメディック

司会：井上智弘（NTT 東日本関東病院）

顕微鏡下脳微小血管吻合術における、基本、考え方、technical tips、および普段の練習から気を付けること等を学びます。世界的にもバイパス併用の脳血管難手術に精通する講師のもとで、講義および人工血管を用いた卓上型顕微鏡下実習で習得することを目標とします。

講師

谷川緑野 札幌禎心会病院
野田公寿茂 札幌禎心会病院
太田伸郎 札幌禎心会病院

第7会場

13:00~16:00

H3**脊椎基本手技と応用コース**共催：HOYA Technosurgical 株式会社/株式会社アムテック/日本メドトロニック株式会社/ビー・ブラウンエースクラップ株式会社/
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社/日本ストライカー株式会社/株式会社ナカニシ

司会：高見俊宏（大阪市立大学）

脊椎脊髄疾患の基本は運動器疾患としての特徴を有しますが、神経機能疾患としての重要な側面があります。その障害は日常生活の活動性だけでなく、生活の質にまで深刻な影響を及ぼす危険があり、脳神経外科診療における脊椎脊髄外科が果たす役割は決して小さくないものと思います。今回の脊椎脊髄外科ハンズオンでは、脊椎外科の基本手技を中心に学んでいただき、さらに応用課題にも対応できるように講習内容を設定しました。

獲得目標：①脊椎外科の基本手技を、脊椎モデルを用いて確実に習得すること、さらに②応用課題にも対応できる手技的な工夫を学ぶこと。

講 師

山縣 徹	大阪市立総合医療センター
高井敬介	東京都立神経病院
内藤堅太郎	大阪市立大学
張 漢秀	埼玉医科大学総合医療センター
西岡和哉	和歌山県立医科大学

第8会場

13:00~16:00

H4**医用融合 3次元画像作成コース**

共催：株式会社 Kompath

司会：金 太一（東京大学）

医用画像を用いた3次元画像の作成方法や手術シミュレーションのコツについて習得していただきます。ご希望の疾患や手術アプローチなどをあらかじめお伝えいただければ、それに則した画像処理方法をレクチャーします。CTやMRIデータを持参していただければ、それらを用いた融合画像の作成も可能です。作成した3DCGデータはお持ち帰りいただけます（3DCGビューワソフトをお付けします）。日々の臨床に活用できるように、シミュレーションのためのデータ取得方法や必要なソフトウェアなどについてもアドバイスいたします。希望者は、アドバンスコースとして、流体解析や脳変形などの高度なCG技術、トラクトグラフィーの描画なども習得可能です。

講 師

吉野正紀	虎の門病院
野村征司	東京大学
庄野直之	東京大学

第13会場

13:00~16:00

H5

**第26回PNLS-コース/第17回PNLS-インストラクター養成ワークショップ
脳神経外科救急基礎蘇生・インストラクター養成コース**

共催：日本脳神経外科救急学会

PNLS (Primary Neurosurgical Life Support) とは、脳神経外科救急初期診療法のこと、日本脳神経外科救急学会が、救命処置コースをベースに、新たに開発した教育コースです。脳神経外科救急全般にわたる初期診療を臨床の現場を離れて学ぶ (off-the-job training) ことができます。

開催責任者

黒岩敏彦 (日本脳神経外科救急学会 理事長 大阪医科大学脳神経外科)

奥寺 敬 (日本脳神経外科救急学会 PNLS 委員長 富山大学救急災害医学)

コースアドバイザー

加藤庸子, 田宮 隆, 松前光紀, 浅井昭雄

コースコーディネーター

岩瀬正顕, 池田尚人

第11会場

13:00~15:00

H6

**原発性悪性脳腫瘍患者に対する光線力学的療法(PDT)
講習会**

共催：日本脳神経外科光線力学学会ガイドライン委員会/日本レーザー医学会/Meiji Seika ファルマ株式会社

原発性悪性脳腫瘍に対する光線力学的療法 (PDT) の原理・治療手技、レーザ安全の基礎、臨床試験の成績を座学で学んだ後、実際の機器を用いたハンズオントレーニングで機器操作等を習得します。本トレーニング講習会を受講、修了していることが、PDT 施行者の条件となっております。

本講習会への事前参加申込みについては、日本脳神経外科光線力学学会のホームページ (<https://www.osaka-med.ac.jp/deps/neu/JPNS/pdt.htm>) をご覧ください。

第I部 概要

第II部 レーザ医学の安全に関する基礎的重要事項

第III部 臨床試験について

第IV部 ハンズオントレーニング

第5会場

13:00~16:00

H7**頭蓋底外科におけるドリリングテクニック**

共催：日本メドトロニック株式会社

頭蓋底外科に興味がある方や、頭蓋底手術を今後習得されたい方を対象にした3時間のコースになります。本コースは頭蓋底アプローチとドリリングテクニックの習得を目的としております。前半は講師の先生による講義になり、後半はハイスピードドリル（MidasRex）でアニマルボーンをドリリングし頭蓋手術を体験していただきます。

第12会場

11:45~16:00

H8**平成29年度 第1期第1回
一般社団法人日本神経内視鏡学会主催講習会**申込先：<http://square.umin.ac.jp/jsne/>

日時：5月11日（木）11:45~16:00（11:15受付開始）（予定）

会場：パシフィコ横浜 会議センター 5F 503

11:15 受付開始

11:45 オリエンテーション

12:00~13:00 内視鏡基本操作 全員

以後コース別に各テーブルに移動

【脳室コース】

13:00~15:00 鉗子操作, 止血, 切開の実習 (各40分ずつ)

15:00~16:00 脳室モデルを用いた実習

【血腫コース】

13:00~15:00 血腫吸引実習

15:00~16:00 止血操作実習

【下垂体コース】

13:00~16:00 モデルによる下垂体アプローチの実習

【脊髄コース】

13:00~16:00 モデルによる MEL, PELD の実習

講師<五十音順・敬称略> (予定)

赤井卓也 (富山大学)

天野耕作 (東京女子医科大学)

荒川芳輝 (京都大学)

内門久明 (うちかど脳神経外科クリニック)

大山健一 (帝京大学)

杉山一郎 (稲城市立病院)

谷口理章 (神戸大学)

田原重志 (日本医科大学)

徳重一雄 (埼玉石心会病院)

戸田正博 (慶應義塾大学)

中島伸幸 (東京医科大学)

中島 円 (順天堂大学)

西村泰彦 (和歌山向陽病院)

長谷川祐三 (千葉県がんセンター)

深見真二郎 (東京医科大学)

堀口健太郎 (千葉大学)

間瀬光人 (名古屋市立大学)

三輪 点 (慶應義塾大学)

村井尚之 (千葉大学)

矢野茂敏 (熊本大学)

山本拓史 (順天堂大学静岡病院)

吉村淳一 (長野赤十字病院)

渡邊 督 (名古屋第二赤十字病院)

渡部剛也 (愛知医科大学)

5月13日(土) 7:20~8:20

第7会場

MS1-3

脳卒中後遺症（痙縮）に対するボツリヌス療法 ハンズオンセミナー

共催：日本ボツリヌス治療学会/グラクソ・スミスクライン株式会社

本セミナーは、痙縮に対してボツリヌス療法を実施する際の治療対象筋の選び方、および同定のコツをご紹介します。ハンズオンプログラムです。モデルを用いた筋同定の練習により、実践的なテクニックを習得していただきます。参加人数に限りがありますので事前申込制とさせていただきます。申込要領につきましては、準備が整い次第、学会 HP に掲載いたします。

なお、A型ボツリヌス毒素製剤ボトックスの使用資格を取得するためのセミナーではありませんのでご注意ください。

5月14日(日) 15:15~17:15

第5会場

H9

オブチューン講習会

共催：ノボキア株式会社

オブチューン（販売名：NovoTTF-100A システム）は TT フィールド療法（腫瘍電場療法）の治療機器として 2015 年 3 月再発膠芽腫、2016 年 12 月初発膠芽腫患者への適用拡大を厚生労働省より承認されました。本講習会は日常的に膠芽腫の診察をされている先生方を対象に、TT フィールドの作用機序や、デバイス、オブチューンによる治療のプロセス等のトレーニングを行います。定員は 40 名程度、Web による先着順受付、定員に達し次第締め切りとなります。皆さまの参加をお待ちしております。

モーニングセミナー

5月13日(土) 7:20~8:20

第10会場

MS1-1

International Efforts to Defeat Glioblastoma

共催：MSD 株式会社

座長：西川 亮（埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科）
演者：Webster K. Cavenee（Ludwig Institute for Cancer Research,
University of California, San Diego）

第6会場

MS1-2

進行期パーキンソン病の治療 —現状の問題と解決策—

共催：アッヴィ合同会社

座長：山本隆充（日本大学）
演者：谷口 真（東京都立神経病院）

第7会場

MS1-3

脳卒中後遺症（痙縮）に対するボツリヌス療法 ハンズオンセミナー

共催：日本ボツリヌス治療学会/グラクソ・スミスクライン株式会社

講師：銭 亮, 徐 海雁（グラクソ・スミスクライン株式会社 開発本部
MSL スペシャルティ・ジェネラルケア部）

第11会場

MS1-4

脳神経外科手術の心構えとトレーニング

座長：森田明夫（日本医科大学）

1. 3D プリンターを用いたトレーニング.....周郷延雄（東邦大学）
2. 脳神経外科手術の心がまえ.....谷川緑野（札幌禎心会病院）

5月14日(日) 7:20~8:20

第5会場

MS2-1

オプチューンアップデート講習会

対象：オプチューン講習会修了済みの先生

講習内容：1. 初発膠芽腫患者対象のEF-14 臨床試験
2. 新型オプチューンの概要

共催：ノボキア株式会社

講師：松谷雅生（五反田リハビリテーション病院）

第6会場

MS2-2

脳卒中の外科的治療

—術野展開と血行再建を駆使して—

共催：株式会社メディカ・ライン

座長：水谷 徹（昭和大学）

演者：井上智弘（NTT 関東病院）

第7会場

MS2-3

WHO 新分類の膠芽腫とその亜型の病理と臨床

共催：シュプリンガー・ジャパン株式会社

座長：夏目敦至（名古屋大学）

1. 膠芽腫とその亜型の病理診断.....澁谷 誠（東京医大八王子医療センター中央検査部）
2. 膠芽腫とその亜型の臨床.....佐々木 光（慶應義塾大学）

第8会場

MS2-4

小児脳腫瘍の手術

共催：株式会社大塚製薬工場

座長：好本裕平（群馬大学）

演者：山本哲哉（筑波大学）

ランチョンセミナー

5月12日(金) 12:05~12:55

第1会場

LS1-1

脳血管内治療の勧め —GDC 発売から 20 年の変遷と今後—

共催：日本ストライカー株式会社

座長：飯原弘二（九州大学）

演者：坂井信幸（神戸市立医療センター中央市民病院）

第2会場

LS1-2

原発性悪性脳腫瘍の光線力学的療法（PDT） ～臨床経験 3 年の知見～

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

座長：石内勝吾（琉球大学）

演者：荒川芳輝（京都大学）

秋元治朗（東京医科大学）

第3会場

LS1-3

知っておきたい！新規抗てんかん薬の メカニズムと使い方！

共催：エーザイ株式会社

座長：川合謙介（自治医科大学）

演者：前原健寿（東京医科歯科大学）

第4会場

LS1-4

VTE 治療戦略のパラダイムシフト ～Edoxaban への期待～

共催：第一三共株式会社

座長：清水宏明（秋田大学）

演者：山本 剛（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科）

第5会場

LS1-5

脳血管奇形の手術 set up と decision making

共催：カールツァイスメディテック株式会社

座長：齊藤延人（東京大学）

演者：野崎和彦（滋賀医科大学）

第6会場

LS1-6

脊椎手術の実際

共催：HOYA Technosurgical 株式会社

座長：水野順一（新百合ヶ丘総合病院低侵襲脊髄手術センター）

1. 自分のアイディアが活かせる脊椎疾患の魅力ーインプラント・手術器具の開発ー
.....谷 諭（東京慈恵会医科大学）
2. 頸椎椎弓形成術の進歩と現状の評価.....水野順一（新百合ヶ丘総合病院低侵襲脊髄手術センター）

第7会場

LS1-7

下垂体・傍鞍部腫瘍摘出術の合併症とその対策

共催：日本特殊陶業株式会社/株式会社 elliquence-Japan/株式会社メディカルユアードエイ

座長：吉野篤緒（日本大学）

演者：天野耕作（東京女子医科大学）

第9会場

LS1-8

脳腫瘍摘出手術における術中モニタリングの有用性

共催：ノーベルファーマ株式会社

座長：岩立康男（千葉大学）

1. 5-ALA 蛍光の定量化と実際.....金子貞洋（苫小牧市立病院）
2. 明日からできる脳マッピング（導入編）
.....山口文雄（日本医科大学大学院脳神経外科地域医療システム講座）

第10会場

LS1-9

超高精細 CT による画像診断と手術

共催：東芝メディカルシステムズ株式会社

座長：富永悌二（東北大学）

1. 超高精細 CT の臨床応用.....早川基治（藤田保健衛生大学）
2. 頭蓋底髄膜腫の手術.....長谷川光広（藤田保健衛生大学）

第11会場

LS1-10

頭蓋底再建：合併症を起こさないコツ

共催：ブレインラボ株式会社

座長：大畑建治（大阪市立大学）

演者：齋藤 清（福島県立医科大学）

第12会場

LS1-11

脳卒中の内科的治療 update

共催：サノフィ株式会社

座長：寶金清博（北海道大学）

演者：高木康志（京都大学）

第8会場

LS1-12

適切な意思決定のための術中情報の判断と活用

共催：株式会社日立製作所

座長：栗栖 薫（広島大学）

演者：村垣善浩（東京女子医科大学）

ランチオンセミナー

5月13日(土) 12:20~13:10

第1会場

LS2-1

Neurosurgical Oncology : What the future will hold

共催：中外製薬株式会社

座長：浅井昭雄（関西医科大学）

演者：James T. Rutka（University of Toronto, Ontario）

第2会場

LS2-2

定位放射線治療の特長と治療戦略： two-knife user の経験より

共催：日本アキュレイ株式会社

座長：太田誠志（新緑脳神経外科横浜サイバーナイフセンター）

演者：小林正人（埼玉医科大学）

第3会場

LS2-3

てんかん診療の「誤解・十戒・愉快」

共催：大塚製薬株式会社

座長：三國信啓（札幌医科大学）

演者：中里信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

第4会場

LS2-4

BCNU wafer の臨床

共催：エーザイ株式会社/ノーベルファーマ株式会社

座長：竹島秀雄（宮崎大学）

1. グリオーマに対する局所化学療法.....齋藤竜太（東北大学）
2. BCNU wafer の使用経験.....近藤聡英（順天堂大学）

第5会場

LS2-5

医療機器開発事始め： 工学部の人と物作りをしてみよう

共催：株式会社シャルマン

座長：松野 彰（帝京大学）

演者：菊田健一郎（福井大学）

第6会場

LS2-6

マルチスペクトラル蛍光画像による脳神経外科手術革命

共催：ライカマイクロシステムズ株式会社

座長：伊達 勲（岡山大学）

演者：鎌田恭輔（旭川医科大学）

第7会場

LS2-7

脳梗塞の危険因子と予後 ～脳卒中登録研究から見えてきたもの～

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長：鈴木倫保（山口大学）

演者：鴨打正浩（九州大学大学院医学研究院附属総合コホートセンター医療管理学）

第8会場

LS2-8

術者の姿勢安定増強と疲労軽減の為の支援機器

共催：タカノ株式会社

座長：金 彪（獨協医科大学）

1. 顕微鏡下立位手術における問題点および Surgical body support を使用した術者の術中動態分析について.....伊東清志（信州大学）
2. 術者の姿勢と疲労軽減 一周辺機器の工夫.....金 彪（獨協医科大学）

第9会場

LS2-9

使いすぎに注意！！ —MRI の造影剤は脳にどんどん蓄積する—

共催：シーメンスヘルスケア株式会社

座長：藤井幸彦（新潟大学）

演者：神田知紀（神戸大学放射線科）

第10会場

LS2-10

頭蓋底手術どこまでできるか

共催：日本メドトロニック株式会社

座長：有田和徳（鹿児島大学）

1. “できる” ことと “すべき” こと

—頭蓋底外科における開頭術の本分の考察—……………大宅宗一（埼玉医科大学総合医療センター）

2. 経鼻的内視鏡下頭蓋底手術はどこまで開頭術に迫れるか……………矢野茂敏（熊本大学）

第11会場

LS2-11

**はじめての神経減圧術を確実にを行うために
—900例の光と影から学ぶ減圧術—**

共催：日本ストライカー株式会社

座長：井上 亨（福岡大学）

演者：藤巻高光（埼玉医科大学）

第12会場

LS2-12

エビデンス時代の急性期血栓回収療法

共催：日本メドトロニック株式会社

座長：松丸祐司（筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座）

演者：今村博敏（神戸市立医療センター中央市民病院）

5月14日(日) 12:20~13:10

第2会場

LS3-1

脳血管障害における脳血流 SPECT 画像は
こう読む!!

共催：日本脳神経核医学研究会/日本核医学会/日本メジフィジックス株式会社

座長：森 健太郎（防衛医科大学校）

演者：小笠原邦昭（岩手医科大学）

第3会場

LS3-2

再発悪性神経膠腫に対するホウ素中性子捕捉療法
(BNCT) の現状と展望

共催：ステラファーマ株式会社

座長：吉本高志（脳神経疾患研究所附属総合南東北病院最高顧問・東北大学名誉教授）

演者：宮武伸一（大阪医科大学附属病院がんセンター先端医療開発部門）

第4会場

LS3-3

集束超音波の挑戦

共催：InSightec Japan 株式会社

座長：堀 智勝（森山医会東京脳神経センター病院）

1. 不随意運動に対する集束超音波治療の現在とこれから……………平 孝臣（東京女子医科大学）

2. 超音波による非温熱生体作用：次世代 MRgFUS のキーテクノロジー……木下 学（大阪府立成人病センター）

第5会場

LS3-4

聴神経腫瘍の標準治療とは？
—手術適応・治療適応—

共催：帝人ファーマ株式会社

座長：川俣貴一（東京女子医科大学）

演者：河野道宏（東京医科大学）

第6会場

LS3-5

脳外科医が知っておくべき、てんかんの周辺知識
～自動車運転と社会保障制度を中心に～

共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

座長：加藤天美（近畿大学）

演者：國井尚人（東京大学）

第7会場

LS3-6

術中蛍光診断と治療

共催：ミズホ株式会社/SBI ファーマ株式会社

座長：木内博之（山梨大学）

藤木 稔（大分大学）

1. 蛍光脳血管撮影の現状と今後の展開……………鈴木恭一（福島赤十字病院）
2. PDD から PDT へ—ALA に関する最近の知見……………黒岩敏彦（大阪医科大学）

第8会場

LS3-7

水頭症治療の意義を考える

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長：松前光紀（東海大学）

演者：間瀬光人（名古屋市立大学）

野田公寿茂（札幌禎心会病院）

第10会場

LS3-9

がん臨床試験のデザインと結果の解釈

共催：小野薬品工業株式会社

座長：永根基雄（杏林大学）

演者：福田治彦（国立がん研究センター中央病院臨床研究支援部門）

第11会場

LS3-10

見せます 私の4K 経鼻的腫瘍摘出術

共催：オリンパス株式会社

座長：山田正三（虎の門病院）

演者：小林浩之（北海道大学）

田原重志（日本医科大学）

第12会場

LS3-11

急性期脳梗塞治療の最前線と再発予防

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/ファイザー株式会社

座長：黒田 敏（富山大学）

演者：吉村紳一（兵庫医科大学）